

AUTOSAR in Practice (AiP) オンライン

Agenda VectorAcademy

実施方法:	このコースはリモート形式で提供されます
所要時間:	5days (13:00-17:30)
受講対象者:	AUTOSAR 開発者 (ベクターMICROSAR 製品ユーザーの方)
受講目安・前提知識:	「AUTOSAR ベーシック」トレーニングの受講者、または AUTOSAR 開発経験を通して得られた同等の知識をお持ちの方。 なお、本トレーニングは前記トレーニングとの2部構成になっております。 そこで解説する用語や概念は、時間の関係から説明できないことがありますので予めご了承ください。 AUTOSAR ベーシックトレーニングを受講されていない方は、本トレーニング受講前に E ラーニング「AUTOSAR 入門」(無償)、はじめてシリーズ「はじめての AUTOSAR」をご覧ください、用語、概念の理解をご確認ください。 C 言語による車載 ECU 組込ソフトウェア開発の基本的な知識/経験をお持ちであること CAN、LIN、FlexRay など、ご使用になるバスシステムに関する基本的な知識をお持ちであること OSEK/VDX OS による車載 ECU 組込ソフトウェア開発の基本的な知識/経験をお持ちであることが望ましい
ゴール:	MICROSAR 製品の BSW 各機能、コンセプトの理解

1. 概要

既に量産開発適用段階を迎えている AUTOSAR—しかし、その膨大な量の仕様書をいくら繰り返し読んだとしても、実際の開発での作業内容に結び付けて理解することは容易ではありません。

そこで、このトレーニングでは、BSW および、その設定の解説を通して「実際の開発作業」についての理解を深めていただきます。

なお、本トレーニングは座学のみで演習はありません。

予めご了承ください。

2. アジェンダ

- > Day1
 - > Introduction
 - > Operating System
 - > Application Layer SW-C (Software Component)
- > Day2
 - > Input/Output (I/O)
 - > Diagnostics (診断関連機能)
- > Day3
 - > Communication (CAN のみ - LIN/FlexRay は概要資料を提供)
- > Day4
 - > Mode Management (ECU や通信などの状態管理)
- > Day5
 - > Non-Volatile Memory (不揮発メモリー)